



王ーだより

令和元年9月号
北区立王子第一小学校
校長 荒木 康子

教育目標 仲良く助け合う子 身体をきたえ元気な子 よく考え最後までやりぬく子 親切で礼儀正しい子

「考動」する姿

校長 荒木 康子

3週間の夏休みが終わり、元気な子供たちが学校に戻ってきました。大きな事故やトラブルの連絡がなく安心しました。コロナ禍の今年は、夏休みの過ごし方が例年とは違い、新しい生活様式を意識した夏休みとなったことと思います。ご家庭ごとに、感染対策を取りながらいろいろ工夫され、夏休みを過ごされたことでしょう。

学校が再開して1週間、子供たちは徐々に学校のリズムを取り戻してきました。生活リズムチェックシートを活用しながら規則正しい生活を意識し、元気に登校できるよう、ご家庭での支援をよろしくお願いいたします。

本日31日から、登校班での登校が始まりました。近隣の子供たちが協力し合い、安全に登校できるよう、班長・副班長を中心に高学年児童の「考動する姿」の出番となりました。

「考動」とは、字から推測すると、考えて行動するという解釈が成り立ちますが、調べてみるとそれだけでないことが分かりました。「行動しながら考える」「考えながら行動する」という意味があるそうです。考動には、自主的（能動的）な意味合いが強くあります。

分かりやすく言えば、「やりながら考える。考えて行動する。」ということです。家族から、「勉強しなさい。」「遅れないように家を出なさい。」「交通事故や不審者に遭わないようにしなさい。」とよく言われがちですが、人から言われずに自らがやったときやできたときの気持ちや達成感はとても大きいものです。できたことは、後々まで自分のもの（知識や行動のもと）になります。ですから、自分からすすんでやったときの喜びは、次の意欲や成長につながります。

私は、人から言われずにすすんで行動することを「考動」と考えました。本校の児童にも、すすんでやった時の喜びを味わわせ、考動を数多く体験させたいと考えています。すすんで行動して自分や家族や人のために役立つ、自分から学習に取り組んで分かったことを増やす、本校においてそのような場面を多く見られることを願います。

言葉で「考動する」はたやすいですが、根気よく物事に取り組んで、一つ一つの成果を積み重ねていくことが大事だと思います。生活が制約される現状だからこそ、周りの状況や相手の気持ちを汲んで考動することが必要となります。

登校班活動においても、高学年のリーダーたちが、班の子供たちの安全と登校時間内の入校を考えながら、考動してくれることでしょう。また、班の集合時刻に遅れないように、みんなが考動することも忘れてはなりません。

登校班の世話人や旗振り当番の保護者の皆様、見守り協力の地域の皆様、安全な登校と円滑に登校班活動が進められますよう、ご支援と見守りをよろしくお願いいたします